



～豆一俵物語・・反一俵の大豆の增收で会津を元気にしましょう！～

だいす通信 第2号 (通算22号)

(平成25年6月20日)

発行：会津農林事務所農業振興普及部 (TEL 0242-29-5306)

あいづ農業協同組合 (TEL 0242-37-2304)

1 大豆の生育概況

大豆のは種作業は、5月24日に猪苗代町で最初のは種作業が始まり、天候に恵まれたため6月中旬には終了しました。

5月下旬～6月中旬までの乾燥の影響で、5月下旬の早期のは種で出芽の遅れが若干見られましたが、出芽は概ね良好です。ただし、転用種子のあやこがねでは出芽数がやや少なくなっています。

播種後より気温が高めに推移し

(図1)、出芽の早いほ場では、現

在3葉期前後、6月上旬のは種では第2本葉展開期となっています。イネ科やタデ科の雑草が目立つほ場もありますので、雑草が多発しているほ場では中耕培土または除草剤の散布を早めに行いましょう。

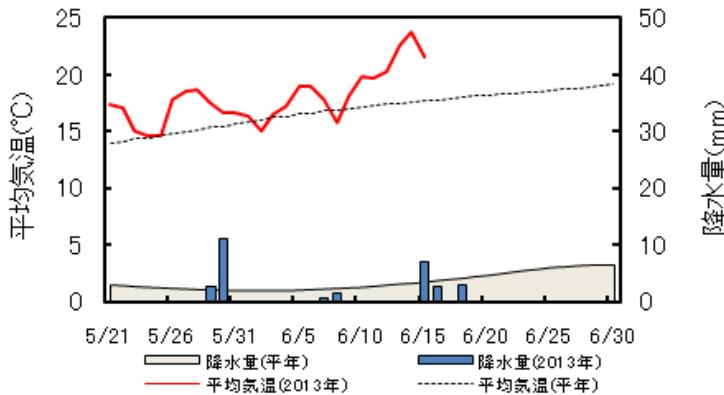


図1 は種後の気温と降水量の推移(AMeDAS猪苗代)

2 当面の技術対策

(1) 初期害虫防除

クルーザーMAXXの殺虫殺菌剤による塗沫処理を行っていない場合は、ネキリムシ類やフタスジヒメハムシなどの初期害虫により甚大な被害が出る場合がありますので、発生初期に下記の薬剤により防除を行ってください。

表1 生育期の初期害虫防除薬剤例

商品名	適用害虫名	10アール使用量 (散布液量)	使用時期 (収穫前)	使用方法	使用回数
ダイアジノン 粒剤5	ネキリムシ類	6kg	収穫30日前 まで	土壤表面散布	5回以内
	フタスジヒメハムシ			散布	4回以内
	コガネムシ類幼虫 タネバエ			作物生育中：作条 処理して軽く覆土	5回以内
ダントツ水溶 剤	フタスジヒメハムシ	2000～4000倍 100～300L	収穫7日前 まで	散布	3回以内

※平成25年6月19日現在の登録内容。農薬を使用するときはラベルを確認して適正に使用しましょう。

(2) 排水対策

降雨が多くなると予想されるときは、以下の対策を行ってください。

①水口は確実に止めて、用水路からの入水を防ぐ。

②降雨時や降雨後に暗渠排水の点検・確認を行い、詰まり等を取り除く。

また、明きよや排水路を点検し、ほ場の停滞水を排水させる。

③明きよと排水路への接続がなく、明きよ中に水がたまっているほ場は、畦畔を切除する等して早急に排水する。

(3) 中耕・培土

中耕は、除草と作土の膨軟化による生育の促進を目的に行い、培土は不定根の発生促進・圃場の排水・倒伏防止を目的とします。中耕培土の効果は、雨が多くて土壤が過湿気味の場合や土壤が重粘で水はけが悪いような条件の場合に高くなります。また、中耕・培土は2回を標準に行います。

① 第1回目中耕・培土

土壤処理除草剤の残効が切れる直前の大豆発芽後20日頃の3葉期を目安に、子葉から初生葉が隠れる程度に浅く培土します。

② 第2回目中耕・培土

大豆5～6葉期に行い、第1本葉の節が隠れる程度まで培土します。培土は不定根が発生する時期に効果が大きく、遅い時期の培土は、断根によるマイナスの影響があります。このため、遅くとも開花の10日前までには終わらせる必要があります。なお、コンバイン収穫時の汚粒発生防止のため、培土高が一定となるよう作業を行いましょう。

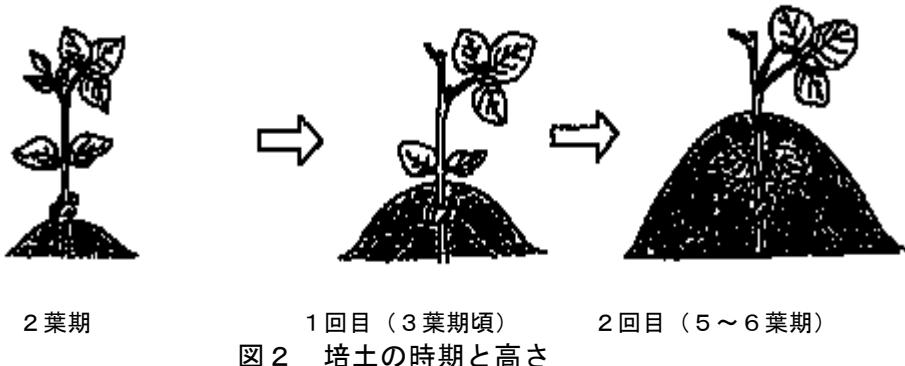


図2 培土の時期と高さ

（4）雜草防除

大豆をは種後約30日間雑草の発生を抑えるようにすれば、雑草による大豆の生育への影響をほとんど除くことができますが、1回目の中耕・培土を行っても畦間・株間に残草が見られる場合には、茎葉処理剤を散布します。茎葉処理剤の大豆バサグラン液剤は、広葉雑草のタデ科、キク科、アブラナ科には効果が高いものの、アカネ科（イヌビュ）やアカザ科（シロザ）、マメ科（クサンム）などには効果の劣ることから、散布の際は草種を確認して散布してください。

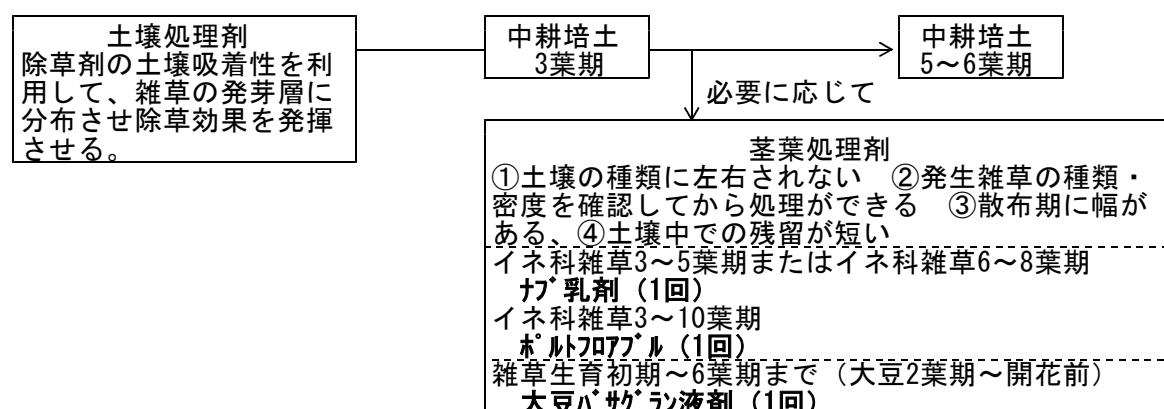


図3 雑草の防除体系（括弧内は使用回数）

表2 主な茎葉処理剤

商品名	適用時期	使用量(散布液量)	適用雑草	使用方法	使用回数
ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) (但し、収穫30日前まで)	150~200mL/10a (100~150L/10a)	一年生イネ科 雑草(スズメ ノカビ)を除 (カビ)く	雑草茎葉 散布	1回
	雑草生育期(イネ科雑草6~8葉期) (但し、収穫30日前まで)	200mL/10a (100L/10a)			
ポルトフロア ブル	雑草生育期(イネ科雑草3~10葉期) (但し、収穫30日前まで)	200~300mL/10a (100L/10a)	1年生雑草 (イネ科を除 (カビ)く)		
大豆バサグラ ン液剤(ナト リウム塩)	だいずの2葉期~開花前(雑草の生育初 期~6葉期)(但し、収穫45日前まで)	100~150mL/10a (100L/10a)			

※平成25年6月19日現在の登録内容。農薬を使用するときはラベルを確認して適正に使用しましょう。

暑くなってきたが、熱中症にならないように気をつけましょう。

また、トラクター等による農作業事故には十分注意しましょう。

～会津農林事務所農業振興普及部HPにも掲載中～

